

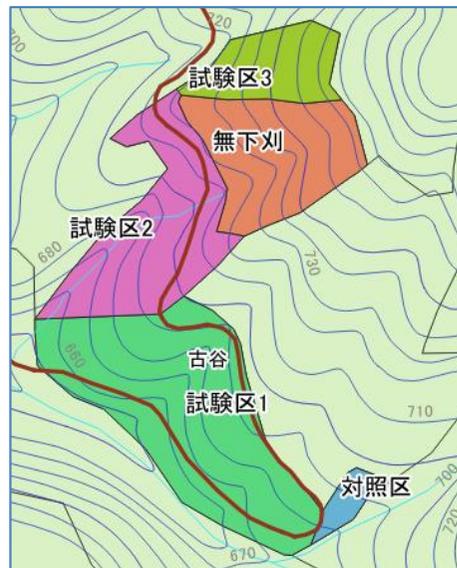
天然生広葉樹を活用した低コスト針広混交林造成技術の開発

古谷国有林 527へ1林小班 1.69ha

植栽:H19(2007)年 土壌:BlI 標高650~700m

皆伐跡地に自生していたヤマザクラ、クリ、ホオノキ等の広葉樹の萌芽苗及び天然下種苗の間にヒノキを植栽し、ヒノキ植栽本数の低減及び地拵え、下刈等の作業簡略化により低コスト造林が図られます。

今後、建築用材等として資源が減少している有用広葉樹について、針葉樹との混植による広葉樹の伸長成長の過程を調査し、建築用材等が採材可能な育成技術を検討するとともに、除伐、間伐等の造林コストと林分成長量の調査を進めます。



クリ



ヤマザクラ



ホオノキ

伐採時状況



平成26年成林状況



年度別下刈功程調査表(ha当り人工数)

単位:人

試験区	地拵えの有無	H20	H21	H22	H23	H24	H20~H24 人工数計	下刈回数
試験区①	有		4.483			8.036	12.519	2
試験区②	有	4.911		3.571		4.911	13.393	3
試験区③	無	6.378			5.241		11.619	2
対照区	有	4.688	3.127	4.313	4.243	4.093	20.464	5

※一日当り8時間労働として換算